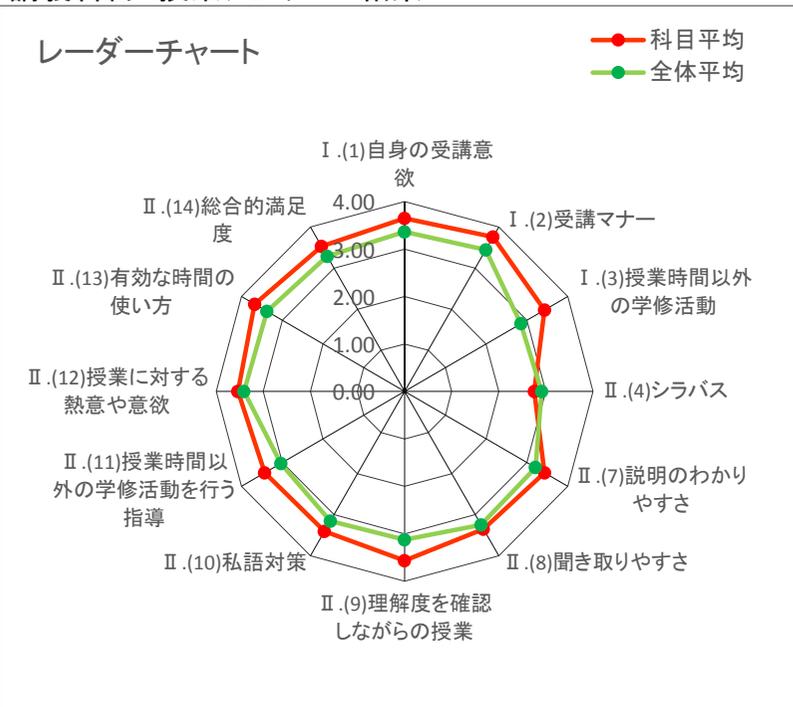
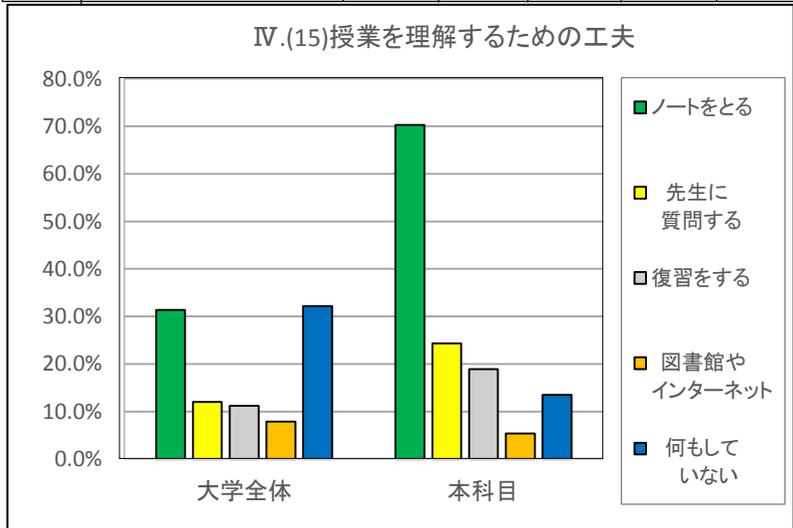


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	70.3%	24.3%	18.9%	5.4%	13.5%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	21103
科目名	英会話 I
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.65	3.36
	I.(2)	3.76	3.45
	I.(3)	3.43	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.76	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.43	3.21
	II.(8)	3.35	3.25
	II.(9)	3.57	3.13
	II.(10)	3.41	3.16
	II.(11)	3.43	3.04
	II.(12)	3.54	3.41
	II.(13)	3.68	3.37
	満足度	II.(14)	3.53

①授業計画の達成度について
 本授業は、実用的な英語表現・基礎英文法を中心に、「聞く・話す・読む・書く」という総合的な英語コミュニケーション能力の育成を目的としている。受講生の理解度を確認しながら、講義要項の授業計画を達成するよう配慮していたため、指導側としては、本授業計画は達成できたと考えている。それが、授業アンケート結果(9)にも表れている。

②授業の進め方について
 毎授業にめあてを提示した上で、前半は基礎英文法、後半は英語表現を使ったワークを取り入れる方法を取った。英文法に関しては、前授業回で使用した英文や文法を発展させ、英語表現に関しては、毎回異なるクラスメートと会話できるよう配慮した。私語もなく、英語を話すときにはしっかりと取り組めるクラスだった。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢		
I.(1)~(3)	3.61	3.22
講義内容・方法		
II.(4)~(13)	3.40	3.18
総合的満足度		
III.(14)	3.53	3.29

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 英語での説明を多くし、英語が耳に慣れるように配慮した。熱心に耳を傾ける学生が多く、だんだんと聞き取れていく様子がうかがえた。後期は、①英語への不安を払拭すること、②復習を推進することを目標にしたい。